

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立勝川小学校（愛知県）【協力校】

## 【取組内容⑤】保護者・地域の人にクラウド体験をしてもらう

令和3年度に保護者・地域の皆様へGIGAスクール構想の理解をすすめるために、PTA対象のセミナーや学校評議委員会で地域に住む皆様にも児童の使っている端末を使ってクラウド体験をしてもらいました。講師は管理職と担任を持っている先生たちです。



PTA 会員様

春日井市立勝川小学校  
PTA会長  
研修部部長

第3回 ふれあい教育セミナーweb配信のお知らせ

### クロームブックの活用について

(クラウド体験)

- ★ GIGAスクール構想 とは
- ★ 新学習指導要領のポイント (情報活用能力の育成・ICT活用)
- ★ クロームブックを使用した共同編集作業

今後の充実したセミナー運営のため、動画視聴後にこちらのアンケートにお答えくださいますようお願い致します (1分程度の簡単なものです)

今回のセミナーは、参加者お一人1台ずつ端末を使用して、実際にクラウド体験をして頂きました。

講師： 先生

< セミナー引用資料 >  
動画のなかで、ご紹介致しました資料となります

政府広報 ソサエティ5.0

YouTube 限定公開  
配信期間 R3/12/15 ~ R4/1/6  
冬休み期間中 ご視聴頂けます

PTA保護者様及びご家族様のみのご視聴をお願いします

11/29(月)開催  
勝川小学校にて

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立勝川小学校（愛知県）【協力校】

## 【取組内容⑤】保護者・地域の人にクラウド体験をしてもらう

最初にアイスブレイクでスプレッドシートを活用して、自己紹介してもらいました。他者参照しながら、普段はあまり発言しない保護者・評議員の皆様もどんどん書き込むことができました。最後にはクラウド上でグループに分かれて「Society 4.0（情報社会）とSociety 5.0（未来社会）比べてみよう」を課題として設定し、インターネットから情報収集し動画なども参考しながら整理分析しました。最後に全員で個人の書き込んだ内容を見ながら振り返りをしました。後日この時の様子はYouTubeで限定公開しました。

今後も、学習端末を安全に便利なものとして活用していくためにも、保護者や地域への発信を続けていきたいと思えます。

第2回 評議員会 ☆ 田 ☁

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ

100% ¥ % .0 .00 123 Arial - 14 + B I U A

2:2 | fx -

	A	B	C	D	E
1		ふりがな	出身	入っていた部活	今OR昔好きだったアイドル
2		松田 聖子	愛知県	野球部	松田聖子 (昔)
3			愛知県		
4			千葉県	テニス部	
5			愛知県	ハンドボール部	原節子
6					
7			//	バレーボール	美空ひばり
8					
9					
10			愛知県	ない	ない
11					

子供がどんな学習をしているのがよく分かり、有意義な時間でした。

楽しい授業をありがとうございました！

体験できて良かったです

自分は大学の教員なのですが、自分のゼミで使えそうだなと感じました。有益な情

自分の育った時代とは全く違った状況、子供たちはこの状況に対応しているのがす  
色々な方の発表を聞いたり、自分で考えたり、自分で文字を売ったりすることが楽  
Chromebookについて知ることができて良かったです。

一人一台のパソコンはもっと聞かされたものだと思っていましたが、みんなで共有

【取組内容①】『『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実』

算数科での活動

右の資料①は、算数科における単元進度計画表である。児童は、この計画表を基にして学習内容を選択・決定したり、自己の学びを調整したりできるようにしている。また、資料②は、学習過程を示している。Classroomに毎時間の学習内容や目標、学び方が掲載されており、これらを参考に学習を進めている。

もう少し具体的に1時間の内容を紹介します。最初の10分は、学習の保障の観点から1時間ごとの学習内容をレクチャーという形で教える。残りの時間は資料を②に示した学習の進め方に沿って、必ず取り組む課題と選択して取り組む課題に順に取り組んでいく。また、児童が個人・先生・友達・デジタル教材などから選択して、個々に合った学習環境を選択できるようにしている。さらに、プリントもPDFでClassroomに掲載しており、取り組みたい児童は自分で印刷して、自己の課題に合った学習ができるようにしている。

そして、残りの5分間で学習のまとめとして、学びの手応えを記入する。このような流れで、児童一人一人に合った学習が進められるようにしている。

最後に、この実践の成果として次の3点が挙げられる。1つ目は、児童のアウトプットする機会が大幅に増加したことです。「自分でできる、進められる」ことが可能になり児童は主体的に学習に取り組むようになった。2つ目は、教師が個別指導できる時間が確保できたことである。教師は、常に児童を観察し、個々にアプローチした声かけが可能になった。3つ目は、児童がつながり合い、個々の課題を解決しながら理解を深められることである。各自で解決すべき問題が異なる中で、複数の学び方を選択できる環境があり、Google Chatを活用したり、友達や教師に直接聞いたりすることで、自分なりに解決することができるようになった。このような成果があったと考えている。

単元15：変わり方（6時間）							
時数	ページ	計算スキル	プリント	キュピオ	理解度	自己評価	学習内容
1	P86-87		プリント①		3 →	0 →	書きの手法を、(課題)の答え、学んだこと、で書かたこと
2	P88	11			3 →	0 →	単元の目標を達成するために必要な学習内容を、この単元で学んだこと、で書かたこと
3	P89	12	プリント②		3 →	0 →	単元の目標を達成するために必要な学習内容を、この単元で学んだこと、で書かたこと
4	P90	13			3 →	0 →	単元の目標を達成するために必要な学習内容を、この単元で学んだこと、で書かたこと
5	P91	14	プリント③		3 →	0 →	単元の目標を達成するために必要な学習内容を、この単元で学んだこと、で書かたこと

資料①スプレッドシートで作成

1月26日（金）5時間目  
 【単元】分数（8時間）  
 【ゴール】  
 B・・・帯分数を仮分数に直したり、整数と真分数に分けたりする計算の仕方が理解できる  
 A・・・Bを生かして、帯分数の入った計算の問題を解決ができる  
 S・・・Aに加えて、具体的な問題を使って、計算の仕方を振り返ることができる  
 【進め方】  
 (1) 【課題の設定】帯分数のはいたた計算は、どのように計算できるだろうか。  
 (2) 【情報収集】レクチャーP79の1・2  
 <<視点>>1をいくつに分けた何個分か（○分の1のいくつつ）  
 <<考え方>>仮分数に直す 整数と真分数に分ける  
 ★自分のめあてをチャットに送信  
 (3) ～自由進度学習～【整理・分析】<<学び方>>先生？個人？友達？班？スマレク？  
 ①【必ず取り組む】P79の3・4（丸付け）  
 どちらの考え方で解いたかがわかるようにする。  
 ②【選択】もっと練習？プリント（紙/データ）？ 教科書？動画？  
 <<動画①>>たし算<https://youtu.be/qjdwOa3370U>  
 <<動画②>>ひき算<https://youtu.be/ISX3DbK1fvc?>  
 (4) 【まとめ・表現】  
 ①計画表に入力  
 ②課題について、学びの手応えを書く（新しく学んだこと）  
 ★こんな書き方ができると★  
 1今日の授業で学習したこと（今日は、○○について学習しました。）  
 2考えたこと（～～という視点で見ると（・  
 ■を解くときのポイントは、○○だと思  
 3そして・・・ということ学びました。

資料②Classroomに掲載

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立勝川小学校（愛知県）【協力校】

## 【取組内容①】「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

### 社会科での活動

13:51 津島市の人口の4倍以上の人が来た

13:51 思いつかなかった〜でもすごい！！

13:51 ユネスコの世界遺産だからだね！大きいおまつり(≡∇≡)b  
多いなあー(“a”)

13:52 編集済み

13:52 600年もやっているのは、同じ家族の人が代々やっているからだと思います。(仮説)

13:52 みんなから愛されているからできるお祭り

13:53 愛されているから(大切にしているから)ずっと続いてほしいから

13:53 世界遺産だから。

13:53 みんなに愛されているから

13:53 色々な人が長く来ていて、大切な、残しておこうと考えたから。

13:53 600年もやっているから、他の人も来てくれると思います

資料①

資料②

資料③

4年生の社会科「残したいもの、伝えたいもの」の学習での活用場面である。学習の流れとして、資料①は、Google Chatを利用して、資料の読み取りから、課題に対する仮説を立てるところまで行った。Chatを活用することで他者参照でき、参考にしながら自分の考えをもつことができた。次に資料②③は、情報収集と整理の様子である。教科書やインターネットを活用して班ごとの単位で協働的に情報を集めGoogleジャムボードに整理した。共有ドライブにある思考ツールを背景にすることで分類しながら整理できていた。児童は、必要な情報が何であるのかやどのように整理するかなど話し合って学びを進めるとともに、完成後には、情報収集したことを資料にして、課題について意見交流をした。最後に資料④のように、Googleスライドにまとめと振り返りを記入し、1時間の学習を終えた。

この実践は4年生のものであるが、学校として探究のサイクルを回し、クラウドを活用した授業に実践に取り組んでいる。そして、主体的に学びを進めることのできる児童の育成を目指している。

資料④

理解度	3
自己評価	○

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立勝川小学校（愛知県）【協力校】

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等」

チャットの活用

やっどできました。遅くなってすみませんm(\_ \_)m

**Finish !**

国語  
漢字まとめに向けて①

時間	解いた問題	正答率
1時間 5分	94問	87%

2

**Finish !**

国語  
漢字まとめに向けて②

時間	解いた問題	正答率
39分 58秒	91問	92%

4

今日

できました(汗) ③も頑張ります(๑ω๑)!

**Finish !**

国語  
漢字まとめに向けて②

時間	解いた問題	正答率
13分 54秒	91問	96%

返信 5件 17:10

資料① Chat で取り組み報告

国語の発表のはじめの文章なんですけど(1期)これでいいですか?わたしたちは、「好きな教科」というテーマで、調査をしました。みなさんの好きな教科はなんですか。学校の教科には、いろいろな種類がありますが、みなさんの授業の様子を見ると、いっしょけんめい授業をしていると感じました。この様子を見てるとみなさんは何の教科が好きなかが気になりました。そこで、アンケートを取って、その実態を調べました。アンケート結果からわかったことや考えたことを発表しようと思います。

聞いかけが入ってますね。目的らしいことも入ってますね👍教科書をお手本にすることでいい文章が書けますね。

ありがとうございます!

ただ2文目のつながりは気になります...

学校の教科には、いろいろな種類がありますが、みなさんの授業の様子を見ると、いっしょけんめい授業をしていると感じました。

資料②児童とのやりとり

社会のCMです!できたら見て、感想をチャットに打って欲しいです。できたらいいです。直してほしいことがあったら、教えてください!ネクストという場所があるんですけど、それは消したくないのでそこはすみません(๑・\_・๑)でも3・2・1はありません。

<https://www.canva.com>

2月16日、金曜日

見ました?

まあ大丈夫です。ちょっと内容を足しました。

2月16日、20:58

少し変えました、いれ感じですね。

直してくれてありがとうございます(๑・\_・๑)

資料③児童とのやりとり

ありがとうございます!すみません🙏も一つ質問があるのですが...キコピナを一番最初からやりたい場合はどうすればいいんですか?

時間があるときに返事ください!

水 13:41

最初からとはどういうことかな?

開いて、「ホーム」を押して

はい!

水 13:43

教科⇒自分で学年と単元を選ぶと問題にチャレンジできるとおもいます

ありがとうございます!できました(・v・)

1

資料④欠席児童とのやりとり

資料①のようにGoogle Chatを活用することで、家庭学習での取り組みを相互把握できるようにしている。家庭で取り組んだ成果をChatに送信するように指導することで、児童の学習への取り組みを把握することができる。

また、資料②③は授業後に教師に評価を求めた児童とのやりとりである。Chatを使うことで、このような時間外における学びの継続もすることができる。

最後に資料④は必要に応じた欠席児童とのやりとりである。Chatを活用することで、欠席児童の疑問や質問に教師が答えることも可能になる。このことにより、回復後にスムーズな学校生活への復帰につながると考えている。

他にも、Classroomを用いて連絡帳の代わりにしたり、児童個々が自主学習ノートでの調べ学習などに使用している。